

# ましみずの里

～自分で考え、みんなで学び合い、くらしを自分たちで考えてつくる子どもを育みます～



No. 3  
R元. 7. 26  
校長  
海老洋一

## 1 学期 75 日間、全児童がくらしを自分たちで考えてつくりました

7月26日の1学期終業式で、学年ごとに学習の様子や一生懸命に取り組んできた学習の過程を話しました。どの学年も「学び」にしっかりと向き合い、取り組みました。また、保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、大きな事故やけががなく過ごすことができました。感謝申し上げます。



### 1 年生

私は、入学式でみなさんに3つのことを話しました。一つ目はみなさんが年長さんとしてやってきたこと、できたことを小学校でもしっかりとやりましょう、二つ目はわからないことは、しっかりとずねましょう、聞きましょう、三つ目は友だちをたくさんつくりましょう、いろいろな人と仲良くなりましょうということでした。みなさんどうでしたか？私はとてもがんばっていたと思っています。高揃小学校でくらしをつかっていくために、いろいろなことを先生達や上級生から教えてもらいました。そして教えてもらったことができるようにたくさん挑戦したと思います。特に毎日の学習で、国語ではひらがなや本読み、話を聞く・話す学習をしっかりと取り組んでいました。算数も10までの数について、数の仕組みやたし算や引き算も勉強しました。初めての相撲大会もがんばりました。自分たちでできるようになったことがたくさん増えた1学期でした。高揃小学校の一員になっています。



### 2 年生

2年生はクラス替えがあり友達が増えました。新しい友達と、新しい教室で1学期の学習を毎日がんばりました。1年生までの学習をもとに、国語でも算数でも、わかるように、できるように、自分でよく考えたり、友達の話をよく聞いたりする力が、ますますついてきたと感じています。特に1年生には「入学おめでとう」という気持ちと「高揃小学校のことを教えてあげたい」という思いをもって、学校を案内する学習に取り組みました。全部の教室を案内し、どんなことをする教室なのか、1年生に伝わったかを考えて学習している姿がたくさん見られました。さらに1年生と一緒にドッジボールをしたり、名刺を渡したり、最後にメダルも渡したりしてなかよく学習しました。生活科では、「高揃探検」に3回も行って、地区のことを知ろうとがんばっています。このように学習にしっかりと取り組んでいる2年生は、2学期からも1年生のとてもよい手本にもなっていくと思います。



### 3 年生

1・2年生でできていたことをしっかりと続けて、さらに中学年としての意識を持って1学期を過ごした3年生。全ての教科で全員が、自分の力を伸ばそうとがんばった1学期でした。特に天童市内の社会科見学では、めあてを持って地区ごとの特徴をしおりにまとめたり、見学してわかったことをたくさんメモしたりして、まとめていました。高揃地区とは違う街並みや田んぼ、畑の様子や土地の使われ方について、たくさん発見しました。このように、私たちが住んでいる高揃地区と比べて、いろいろな気付きを発表し合い、みんなで学び合う、「自分たちの学習」として一生懸命に取り組んでいることがすごいです。またパソコンを使って、プログラミングの学習にも取り組みました。さらに、毎日のくらしづくりでは、帰りの会で、友達のよいところを発表する活動を通して、相手の気持ちを大切に考えて、自分の思いもしっかりと伝える大切さも学び続けている3年生です。2学期からの学習も楽しみです。



## 4年生

一人一人が毎日の学習で、めあてをしっかりと持って取り組みました。特に総合の「高揃博士になろう！」の学習では、「高揃に住んでいるけれども、意外と知らないところがたくさんある」ことに気づいたことから学習がスタートしたと聞きました。そして、どんな道筋で学習を進めていこうかと、みんなで学習計画を立てて、自分達でつくっていく学習、自分達の学習として取り組んでいくという意欲が高いなあとは感心しました。一人一人が自分事として自分の高揃を調べ、それをみんなで学び合いながら、「自分も友達も高揃も、みんな好きになる学習」として2学期も継続して、学習を進めてください。さらに、4年生は、「ハイタッチあいさつ運動」を考え、全校生に発表して取り組んでいます。これは、自分たちのあいさつがあまりよくないというふりかえりから、4年生からあいさつを広げ、そしてハイタッチをしたほうがあいさつが楽しくなるというアイデアをだして、取り組んでいます。自分たちで考えて、実行している4年生の成長を感じた1学期でした。



## 5年生

5年生は、学級目標を「伝え合い、考え行動し、最後まであきらめないチャレンジ学級」を掲げ、1学期のくらしをつくってきました。この目標の中には、「どんな学級をめざしていきたいのか」「どんな自分になりたいのか」、一人一人の思いや願いが込められています。そしてこれは学級の目標だけでなく、これをめざすくらしづくりの毎日の中で、5年生は高学年になったのだから、6年生と協力して、学校全体のことを考えて、それを全校生に伝えて、心地の良い高揃小学校にしたいという思いも私は込められていると感じました。なぜかというと、5年生は6年生と一緒に児童会活動や委員会活動に一生懸命に取り組んでいるからです。また6年生から教えてもらった獅子踊りの太鼓を休み時間も叩いて、伝統を引き継いでいる姿があるからです。さらに相撲大会や6年生陸上壮行式でも、5年生として何をしなければならぬかをみんなで考え、取り組んでいる姿があったからです。高学年として、どんな高揃小学校にしていこうか、どんな学級をつくっていこうかをしっかり考えている5年生だと感心しています。高揃小の高学年としてチャレンジした1学期、よくがんばりました。



## 6年生

最高学年になった6年生の自覚と意欲が、1学期間、いろいろな学習場面で感じることができました。1学期始業式当日朝の朝清掃や入学式の準備と片付けを黙々とする姿、そして1年生に学習準備等を優しく教える姿等、自分のすべきことはもちろん、早く終わると他の仕事を手伝う姿、さらに自分で別の仕事がないかを見つけて取り組んでいる姿もありました。児童会目標を決める時も、昨年度の各学級のふりかえりから、計画委員を中心に3月から話し合って決めました。6年生はこの児童会目標を全校生がもっと意識して毎日のくらしをつくっていけば、もっと高揃小学校は過ごしやすく、全校生一人一人が居心地の良い学校になると考えているのです。その6年生の思いを他の学年のみなさんもしっかり受け止めてくらしをつくっているのです。今の高揃小学校があるのです。その他にも、雷のため途中で中止になって、出場できた人と出場できなかった人がいた陸上運動記録会。6年生みんなが「最後までやりたかった」という思いを持ちました。それでも、中止を受け入れ、心を切りかえて、出場した友達のがんばりを称え、出場できなくて悔しい思いをした友達も受け止め、一生懸命に応援できたことをふりかえっていました。その他にも、はっかに取り組み始めた総合の学習や東京への修学旅行でも、たくさんの学びがありました。「12歳の大人になった」と先生達はみなさんの成長に感心しています。2学期からも、さらに高揃小学校の最高学年として、下級生を引っ張ってください。

